

事前申込
不要

ネットいじめ・依存・炎上等に教育工学会はどう対応するか スマホ・SNS時代の情報モラル教育

日本教育工学会が毎年6月に開催する年次総会。午後は現代的な課題をテーマにシンポジウムを開催します。いま話題の青少年とネットの問題について、各ジャンルのパネリストが多角的にこの問題にメスを入れます。

- ・小、中、高、大の先生方、保護者の皆様
- ・教育委員会関係者、関係省庁等行政関係者
- ・通信事業者、アプリ開発関係者、ネット関連企業従事者等
ぜひご参加ください！

2014年6月21日（土）14:00～16:00（受付13:30～）

会場：東京工業大学 大岡山キャンパス 西9号館 デジタル多目的ホール

開催概要

【午後の部】14:00～16:00 シンポジウム2

- 聴講対象：学会員、および一般向け
- 参加費：500円（当日受付にて直接お支払い）
- 申込方法：事前のお申し込みは不要です
- 最寄駅：東急大井町線・目黒線
大岡山駅下車 徒歩1分
- Webサイト
https://www.jset.gr.jp/sympo/sympo_2014.html

シンポジウム趣旨

インターネットの普及とともに私たちの生活は大きな変化を遂げました。特に、「手のひらPC」とも言われるスマートフォンやタブレットの普及で、いつでも、どこでも、誰でも、ネットの利便性を享受できる時代になりました。

しかしながら、SNSによる情報発信やコミュニケーションが可能なスマートフォンアプリの普及によって、小・中・高・大学生に、いじめや依存、炎上など様々な問題が生じています。これら喫緊の現代的課題であるネットモラルの問題に対し、教育工学会はどう対応したらよいか。多角的な視点を有する登壇者で議論を試みます。

近年、各地域のPTA活動や内閣府、総務省、文部科学省など、各方面からネットモラルの啓発事業が取り組まれています。ICT関連の学会として、情報モラル教育に関する論文やシンポジウム、フォーラム等の開催はまだ少なく、今回、本学会がこのテーマに取り組むのは大変意義深いことと考えています。

皆様のご来場をお待ち申し上げております。

登壇者

パネリスト

竹内 和雄

兵庫県立大学、元大阪府寝屋川市教育委員会
＜学校教育、生徒指導の視点から（児童生徒の実態を踏まえて）＞

土井 隆義

筑波大学 人文社会系社会学
＜社会学的な視点から（つながり過剰症や依存症の社会的背景をふまえて）＞

湯淺 壘道

情報セキュリティ大学院大学
＜法情報学の視点から（インターネットと法律をふまえて）＞

小林 直樹

日経BP社 日経デジタルマーケティング編集
＜ネット炎上の取材的視点から（炎上事件の原因等をふまえて）＞

指定討論者

山西 潤一

日本教育学会会長、富山大学

コーディネータ

桑崎 剛

熊本市立総合ビジネス専門学校、
安心ネットづくり促進協議会

※都合により、スケジュールやプログラムが変更される場合がありますので、予めご了承ください。

お問合せ

日本教育工学会 事務局



<http://www.jset.gr.jp/>



office@jset.gr.jp



03-5740-9505

〒141-0031 東京都品川区西五反田8-3-16 西五反田8丁目ビル8F